

ユニテックス

大容量データ 磁気テープに

システム開発のユニテックス(東京都町田市、土田義徳社長)は大容量のデータを磁気テープに記録できる新型装置を開発した。サーバーのデータ保存が可能ならえ、専門知識がなくてもパソコンのデータ保存を簡単にできるのが特徴。10月末をメドに病院などの法人向けに発売し、3年間で2000台の販売を目指す。



パソコンからも簡単移動

病院などの法人向けに拡販する磁気テープ記録用の新型装置

▼磁気テープ 小さな磁石の粒できている記録媒体。粒それぞれのS極とN極の向きを変えて、情報を記録する。粒の小型化が進み、記録できる容量が飛躍的に伸びている。テープ1つへの記録容量は2・5テラバイトと5年前から3倍になった。今後35テラバイトまで容量を増やす技術が確立しているという。

磁気テープは記録したデータを保持するのに電力が不要。ハードディスクドライブが5年程度で故障するケースが少なくないのに対し、20年以上の長期にわたってデータの損傷率を低く保つことができるといわれている。

開発した「LT60ハイ1兆」の情報記録できるブリッドはサーバーとLT06と呼ぶ規格の高速でデータ通信できる磁気フィルムを使う。価格に対応。サーバーにデータを移す用途にも使える。USBケーブルとつなげばパソコンのデータも簡単に移し替えることができる。磁気テープ1つに2・5テラバイトは

価格が87万円から。

磁気テープへの書き込み装置はサーバーのバックアップで使われるケースが多いが、利用機会を広げるため、USBでも磁気テープに書き込む技術を開発した。

パソコンからのデータ転送はマウス操作でできるため、操作指令などの知識を不要にした。ファイルの中身をファイル検索機能で見えることも可能で、IT(情報技術)の専門家以外でも使えるという。

磁気テープはここ数年記録できる容量が飛躍的に伸びており、データの読み書きの時間もハードディスクドライブ並みに速くなっている。磁気テープは記録保持に電力を使わないため、長期間のデータ保存に向いているとされる。

ユニテックスはフルハイビジョンの4倍の解像度を持つ「4K」放送など容量の大きい映像のほか、病院の診断画像や防犯カメラの映像などを保

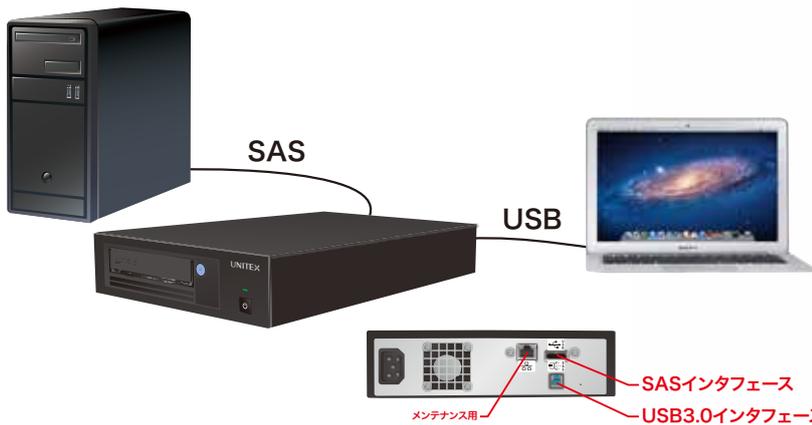
存する需要を見込む。同社は金融機関向けのシステム開発が主力で、2013年7月期の売上高は約18億円。

世界初 USB3.0 とSAS 2つのインタフェースを搭載した 「LT60/LT50 HYBRID」



USB3.0とSASの2つのインタフェースを搭載、用途に応じて使い分けができるLTOテープ装置「LT60/LT50 HYBRID」がメディアで紹介されました。

「LT60/LT50 HYBRID」は、USB3.0とSAS 2つのインタフェースを搭載したLTOテープ装置とLTF3対応 UNITEX LTF33000ソフトウェア(日本語版)を組み合わせたハイブリッド型LTOテープ装置です。USBインタフェースとSASインタフェースに接続し、用途に応じて使い分けができMacOSX、Windows、Linuxに対応したLTOテープ装置です。



ユニテックス

システム開発のユニテックス(東京都町田市、土田義徳社長)は大容量のデータを磁気テープに記録できる新型装置を開発した。サーバーのデータ保存が可能となす、専門知識がなくてもパソコンのデータ保存を簡単にできるのが特徴。10月末をメドに病院などの法人向けに発売し、3年間で2000台の販売を目指す。

大容量データ 磁気テープに

パソコンからも簡単移動

病院などの法人向けに販売する磁気テープ記録用の新型装置

開発した「LT60ハイブリッド」はサーバーとLTOと呼ぶ規格の高速でデータ通信できる磁気フィルムを使う。規格に準拠、サーバーに格納する際のデータは87万円から。

▼磁気テープ 小さな磁石の粒でできている記録媒体。それぞれ別のSとM極の向きを交互にする事で情報を記録する。粒の小型化が進み、記録できる容量が飛躍的に伸びている。テープ1つの記録容量は2.5TBと5年前から3倍になった。今後35TBまで容量を増やす技術が開発されているという。

磁気テープは記録したデータを保持するために電力が不要。ハードディスクドライブが5年程度で故障するケースが少なくないのに対し、20年以上の長期間にわたってデータの損傷率を低く保つことができるという。

磁気テープへの書き込み装置はサーバーのバックアップで使われるケースが多いが、利用機会を広げるため、USBでも磁気テープに書き込む技術を開発した。

パソコンからのデータ転送はマウス操作でできるため、操作指などでの知識を不要にした。ファイルの中身をファイル検索機能で見せることも可能で、1TB(情報技術)の容量の大きい映像のほか、病院の診断画像や防犯カメラの映像などを保

磁気テープはここ数年記録できる容量が飛躍的に伸びており、データの読み書きの時間もハードディスクドライブ並みに速くなっている。磁気テープは記録保持に電力を使わないため、長期間のデータ保存に向いているとされる。

ユニテックスはフルハイブリッドの4倍の解像度を持つ「10K」放送なのか、病院の診断画像や防犯カメラの映像などを保

存在する需要を見込む。同社は金融機関向けのシステム開発が主力で、2013年7月期の売上高は約18億円。



株式会社 ユニテックス

本社 〒194-0021 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル
TEL:(042)710-4630 FAX:(042)710-4660

<http://www.unitex.co.jp>